

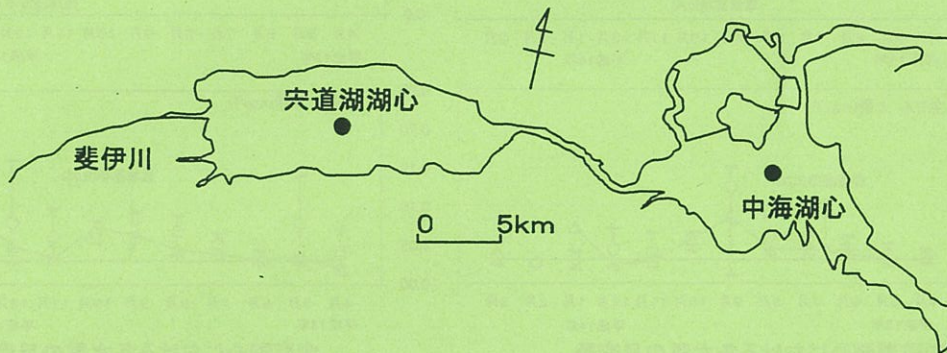
輝水だより (第49号)

[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係(電話:0852-22-5562)

平成14年1月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点







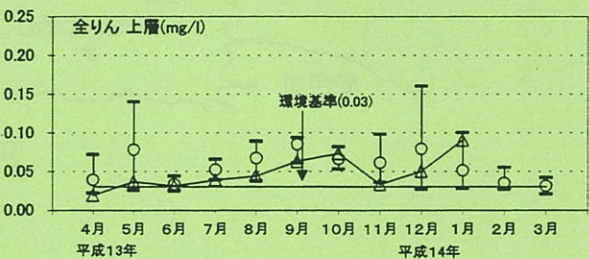
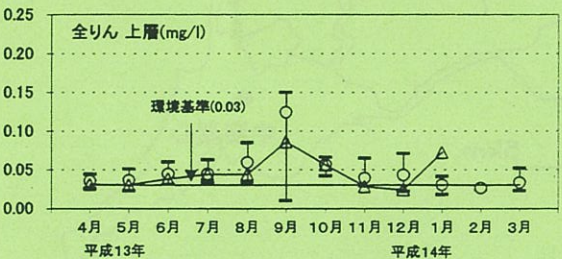
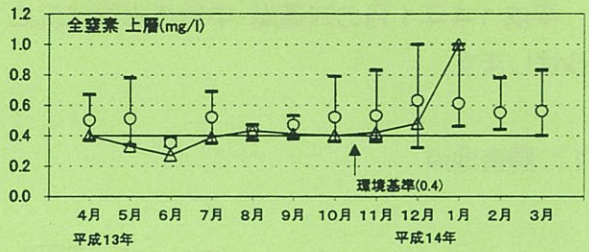
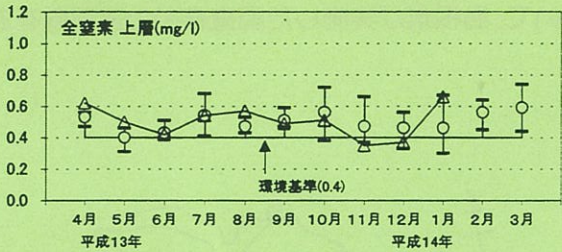
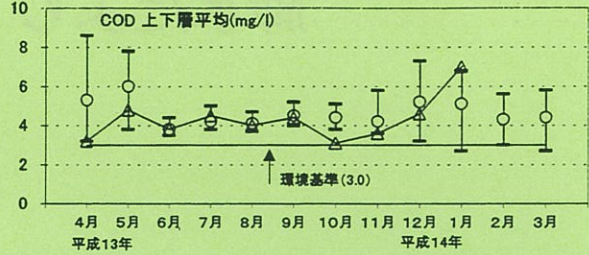
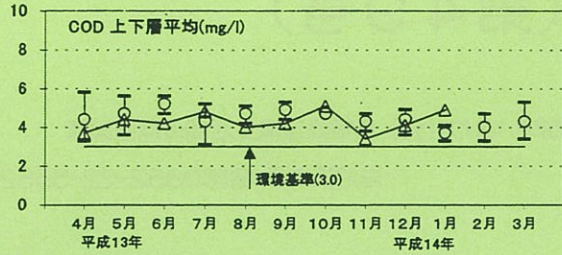
2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成8年度～12年度)の同月と比べると、COD及び全りんは最も高く、全窒素は平均値より高い濃度でした。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、COD及び全窒素は最も高く、全りんは平均値より高い濃度でした。また、中海における島根県域の調査時には、湖心から北東部にかけて赤潮の発生が確認されました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成12年度平均	
			11月	12月	1月	11月	12月	1月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	℃	—	16.4	10.1	3.7	15.2	11.6	6.1	—	—
pH(上層)	—	6.5~8.5	8.4	7.9	8.1	8.0	8.7	8.9	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	3.4	4.1	4.9	3.6	4.6	7.0	4.5	4.9
SS(上層)	mg/l	5以下	4	4	13	2	6	22	5	8
DO(上層)	mg/l	7.5以上	9.9	11	12	10	12	12	9.9	10
DO(下層)	mg/l	7.5以上	9.6	10	12	<0.5	<0.5	10	7.5	5.4
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.35	0.37	0.66	0.42	0.48	1.0	0.54	0.55
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.028	0.024	0.072	0.033	0.050	0.090	0.042	0.056
Cl(上層)	mg/l	—	1200	1000	1000	3900	6900	7800	2800	9400
Cl(下層)	mg/l	—	1300	1400	1100	16000	15000	10000	3400	13000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	15	12	24	5.5	18	84	22	31

*平成12年度公共用水域水質測定結果による。


 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別最大値

 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別平均値

 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別最小値

 平成13年度の測定値



尖道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します。水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は18800mg/lです。